前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏 (法人にあっては名称) 住 (法人にあっては主たる事業所の所在地)													
名 倉敷市教育委員会				所	〒 710-8565 								
本票作成 部署名:教育委員会 教育施設課													
主たる業	種	類 ード	98	業種名:	地方生	公務							
事業の 概 要	学校教	汝育.	及びそ	その他の教	(育、肖	学習支援業							
県内の	番号		工場等の名称					所 在 地					
	1	倉勇	敷中央学校給食共同調理場					倉敷市鶴の浦1丁目1-2					
	2	ラィ	イフパーク倉敷					倉敷市福田町古新田940番地					
主な	3	市立	立美術館					倉敷市	7中央2丁	⁻ 目6番1号	,		
工場等	4	長月	尾小学校				倉敷市	ī玉島長,	尾3086番均	也			
	5	⑤ 老松小学校			倉敷			倉敷市	市老松町4丁目10-1				
	6	⑥ 茶屋町小学校				倉敷市茶屋町早沖445							
特定事業	者辺	①炊	《料等》	原油換算1,5	500kl以	上 🗆 ②バス・トラ	ラック1	00台、	タクシー250	0台以上	□ 30	02換算3	,000t以上
の該当要		lacksquare	場等の	の数		230 所	• E	車両台	数(②該	核当の場合)		台)
温室効果ガ	っ甘い	准仁	度(全	分和 4	年度)	(令和	E) 左 庄	HH 니 트	日捶左	座(△	.£n [5 年度)
	△ 左	毕十		13,892 t(। ।)年度 13,506		日保午	度(令	13, 743	
排出量	平	므	J	•		夕纸	1	15, 500	(令和	5) 左		-	t CO2
					場等の名称			(令和 5) 年度排出量 1,202 t CO ₂					
	`	① 倉敷中央学校総							1, 202 t C02 417 t C02				
主な工場等	<u>~</u>	② ライフパーク倉敷					236 t CO ₂						
の排出量		③ 市立美術館						256 t CO ₂ 215 t CO ₂					
		④ 長尾小学校⑤ 老松小学校						$\frac{213 \text{ t } \text{CO}_2}{210 \text{ t } \text{CO}_2}$					
								$\frac{210 \text{ t CO}_2}{227 \text{ t CO}_2}$					
	(3)	米 座	可小子仪								221	t CO2
Jely b = 1=		画期	間:	令	和	5 年度	\sim	4	令和 :	5 年度	(1	箇年度)
削減目標(達成状況)		☑ 総排出量基準 (5)				5)年度削減	丈実 統	責	目標肖	削減率		目標達	成
22/9/4/7/10		□原単位基準				2.8 %		0.	8 %	☑達周	戓	□未達	
	温温	室効児	果ガス(の排出量と答	密接な関	係をもつ値の内容				原単位当た	り排出量		
(原単位基準 の削減目標を							基準		基準年度 (5) 年度 目標年度				
選択している 場合に記入)	5												
/// LI (CRL/()								CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()
(該当事業				- 4		- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ام ا		BB 77-78	1.14.1 ^ ~		<i>₩</i> ↔ \	>+. \ -+ ++
ベンチマー	´ —	対象	界事業	の名称		ベンチマーク指標		関連数	女値(令和	5	年度)	達成率等	
指標の状況	七												
【別は光辺	一の白	⊐ ≇ক	/# 】										

新型コロナウイルス感染症が第5類に引き下げられた事による換気の頻度の緩和や一部の学校施設における 二酸化炭素計測器の導入、管理標準やエネルギー月報の活用による効率的な換気の実施によって空調設備の 負荷が前年度と比較して減少した。また、教育委員会所管施設の照明設備のLED化も進み、その結果、エネ ルギー使用量が減少した。これに伴い、温室効果ガス排出量も減少し、削減目標を達成することができた。 今後も管理標準やエネルギー月報による更なる設備運用の効率化、照明設備のLED化を進め、エネルギー 使用量及び温室効果ガス排出量の更なる削減に努める。

【推進体制】

- ・温室効果ガス排出削減と省エネルギーを総合的に推進するため、「省エネ・温暖化対策推進会議」を2回
- 実施した。
 ・エネルギー月報の運用拡大や管理標準の改訂作業を継続して行い、組織的にエネルギー管理の強化に取り 組んだ。

【日標削減率達成のために実施した措置及び全後の取組】

■【目標削減率達成のために実施	した措直及い今後の取組】					
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容					
(令和5年度実施分) 小学校・中学校(12校)	(令和5年度実施分) 校舎の照明設備の高効率化	: CO2削減量	約300t/年			
小学校・中学校 (2校)	屋内運動場の照明設備の高効率化	: C02削減量	約 25t/年			
(今後実施予定分) 小学校・中学校 (12校)	(今後実施予定分) 校舎の照明設備の高効率化	: CO2削減量	約303t/年			
小学校・中学校(9校)	屋内運動場の照明設備の高効率化	: C02削減量	約96t/年			

【森林保全等吸収源対策への取組】

1/2N-TT-DIN	T /1 ///	C(MA) AC ACAME
県内で の取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	(今後実施予定分) ・「倉敷市公共建築物ゼロカーボン指針(令和5年3月改訂)」及び「倉敷市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)(令和5年3月改定)」に基づき、太陽光発電設備等の導入検討を積極的に進め、2030年度には設置可能な建築物(敷地含む)の約50%以上に太陽光発電設備を設置することを目指す。
その他	無	

【その他特記事項】	